

会 議 録

会議の名称		令和 6 年度第 3 回守谷市地域包括支援センター運営協議会		
開催日時		令和 7 年 1 月 10 日(金) 開会:午後1時30分 閉会:午後 3 時 00 分		
開催場所		守谷市役所 庁議室		
事務局(担当課)		健幸福祉部 健幸長寿課		
出席者	委 員	城賀本会長、星野委員、南良委員、津留崎委員、宇野委員、 八木岡委員、若杉委員、六倉委員、小澤委員、本台委員 計 10 名		
	その他	守谷市北部地域包括支援センター 吉澤管理者、 清水主任介護支援専門員 守谷市南部地域包括支援センター 石塚管理者、 加藤社会福祉士 社会福祉協議会 高橋事務局長 計 5 名		
	事務局	森山健幸福祉部次長兼健幸長寿課長、横山健幸長寿課課長補佐、 宮下係長、山崎係長 計 4 名		
公開・非公開の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開		傍聴者数 0 人
公開不可の場合はその理由				
会 議 次 第		1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 (1) 地域ケア推進会議について 4 報告事項 (1) 総合相談事例報告について 5 その他 6 閉会		

確定年月日	会議録署名
令和 7 年 1 月 27 日	城賀本 満登

審 議 経 過

1 開会

2 あいさつ

3 協議事項

社会福祉協議会所属の委員が欠席であったが、議事を協議する上で社会福祉協議会の関わりが不可欠なため、社会福祉協議会職員の出席を求め、会長から了承を得た。

(1) 地域ケア推進会議について

事務局から地域ケア推進会議の概要について南北の地域包括支援センターから地域ケア個別会議の実施内容と活動報告、個別会議からみえる地域課題について説明した。

【主な意見等】

会 長： 地域課題を確認する上で、具体的な政策といいますか考えられることはありますか。

事務局： 介護保険サービス以外の高齢者の外出時の送迎については、毎回議題になっています。ニーズはありますが施策を展開できていないのが実情です。近隣の市町村で行っている取り組みをご存じでしたら伺いたいのですが。

委 員： どこの地域も同じような課題を抱えているのだなと思います。介護予防事業で月に 1 回体力測定のような取り組みを行ったりはしていますが、単発の事業であり年間を通したものは実施していません。

事務局： 私たちも介護予防としていろいろな施策は行っておりますが、送迎付きのものではなくて、外に出づらくなった人に参加していただくというのはとても難しいと思っているのですがそのあたりはいかがですか。

委 員： 事業を行う際の送迎は、私どもではなく包括などから委託された事業所にお願いをして事業を実施しています。体力測定などはご自身で来られる方を対象としており、送迎を必要とする方には行っておりません。

会 長： 資料にある「障がいや身体症状が変化した方でも行ける送迎付きコミュニティの場」というのは具体的にはどういったものですか？

事務局： 市の既存の資源としてはシニアクラブやサロンといったものがありますが、こういった集いの場と介護保険の施設との中間的な場所があればいいと思っています。

包 括： 障がいがある方や身体症状が要介護よりもよくなって介護保険のサービスを使わなくてもよい状態になった方が集える場所で、介護保険のサービスを利用される方よりも状態が軽い方や障がいを持った方が集える送迎付きの場所と思っています。

事務局： 昨年の地域ケア推進会議の中で、社会福祉協議会から高齢者が活躍できる場としてボランティアの登録を進めたいといった話がありましたが、その後はいかがですか。

社 協： 高齢者が得意としている技術や知識を生かせる場の提供ということで今年から個人ボランティア登録というのを行っており、現在15名の方に登録をいただいております。子ども食堂で手品をしてもらったりイベントの際の司会をお願いしたり、救急救命の講座を開催したりと高齢者が持っている特技や技術を生かせる場につながることができました。ほかに子どもたちへの福祉体験を実施しているのですが、その活動のお手伝いをしていただいている方もいます。

委 員： 先ほど送迎の要望があると伺ったのですが、送迎ボランティアの人が運転をして何かあった時の補償は何かありますか。

社 協： ボランティア活動に対する保険とは別に送迎用の保険があります。これは、ボランティア保険とは別に入っていていただく必要があります。

事務局： ボランティア活動の中では全国社会福祉協議会のボランティア保険に入っていていただくというのも1つの手段だと思います。市内で移動支援に関するボランティアをされている団体はそういった保険に入っていらっしゃると思いますが、地域の助け合いの中で行っている場合などは、自分の自動車保険の範囲の中で、それぞれの責任の中でされていることが多いと思います。

以前関わったボランティア団体との話し合いの中で、地域で信頼関係を築いたうえで実施する事によって訴訟等につながることを避けるようにしたらよいのではといった助言をしたことがあります。最終的にはご自身の責任でということにはなってくると思います。

委 員： 地域課題の中の「地域とのつながりや見守りの強化」の地域資源として「地区の民生委員」とあります。私は介護の認定調査員をしておりますが、調査を行う中で要支援の認定を受けたがどうしたらよいか分からないといった声を何度か聞いていて、そういう時に民生委員の方に助けていただければよいのかなと思っていました。

事務局： 要支援認定をうけた方がどうやってサービスを使えばよいか分からないということであれば、市の制度周知が足りていないところがあると思います。担当と調整して窓口での相談時の周知であったり、結果通知の中にわかりやすい手続きの案内を入れるなど使いやすい仕組みになるようにしていきたいと思います。

市民の皆さんには慣れない手続きだと思いますので、わかりやすい説明資料も含めて再度検討させていただきます。

会 長： 地域課題の確認事項として「医療機関の窓口」とあります。医療相談窓口はどここの病院にもあるのですがこれはどういったことですか。

包 括： 事例を検討していく中で、障がいを持った方や高齢者の方に医療機関の窓口がわかりにくい場合があるという意見があり、そういった方にもわかりやすい

標記があればと思い課題とさせていただきました。

これは、医療機関の中の場所という意味ではなく医療機関のどこに相談に行ったらよいか、そういったところが詳しくわかっていればスムーズに連携をとることができるのではないかとことです。

事務局： 高齢者ご本人ではありませんが、医療と介護を連携して支援体制の強化を図ることを目的とした在宅医療・介護連携推進会議というものを行っており、その中で専門職同士が顔の見える関係、お互いが気軽に相談できる関係を構築してスムーズに連携がとれるような取り組みを行っています。

委員： 守谷市では介護保険と障がい系のサービスの併用を行うことはありますか。近隣の市では利用しているところもあるようなので伺います。

包括： 障がいをお持ちの高齢者も介護保険を申請されている方がほとんどなので私どもが関わっている方で障がい系のサービスを利用されている方はおりません。

委員： 送迎に関して、バスの自動運転の実証を行っているところがありますが、守谷市も将来そういった可能性があるか伺います。

事務局： バスの自動運転については詳細な把握を行っていない状況ですが、何か取り組みを進めているといった情報は聞いておりません。

委員： 送迎が必要な理由というのはどういったことでしょうか。先ほど自動運転の話がありましたが、自動運転になっても現行のコミュニティバスとあまり変わらないと思いますし、コミュニティバスを使えば近隣を移動することは可能だと思うのですが難しいということであれば、問題は移動能力なのかそれともインフラに問題があるのでしょうか。

事務局： バスの移動の件ですが、守谷市には路線バスと市で運営している地域のコミュニティバスの他にデマンド乗合交通というものがあります。こちらは65歳以上の方や障がいをお持ちの方が対象で、家の近くまでお迎えに行き目的地までお届けするという有料のサービスになります。ただし、乗り合いにはなりますので、何人か一緒に目的地に向かうといった仕組みになります。

委員： 家の近くまで来てくれるというのはとてもいい手段だとは思いますが、デマンド交通について周知や把握はされていますか。

包括： デマンド交通の件は包括でもお勧めしていますが、高齢であるため家の門を出るまでかなり時間がかかるとか運転手さんをお待たせできないといった精神的な負担や帰りの予約を取るのが難しいといったことがあり、利用するには充分でない状況です。

4 報告事項

(1) 総合相談事例報告について

地域包括支援センターの総合相談事例について南北で 1 事例ずつ報告を行った。

次回の会議日程

令和 7 年 3 月 24 日(月)午後1時30分から

5 閉会